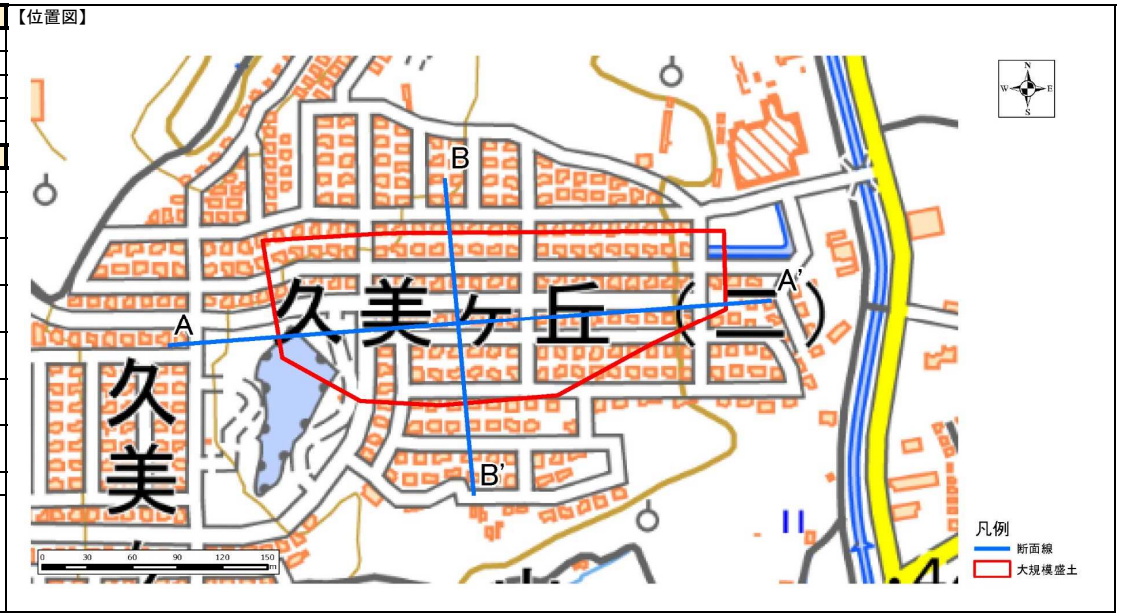
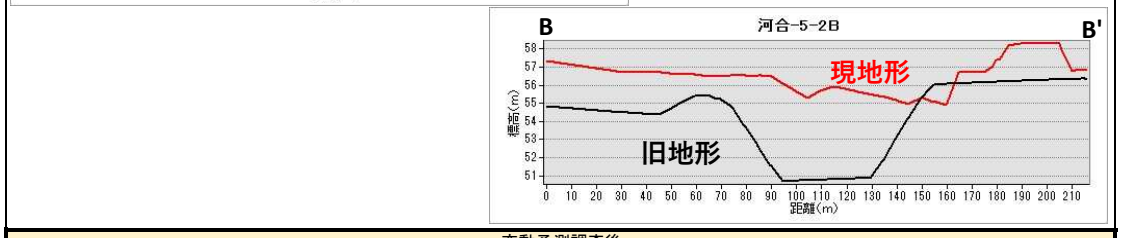
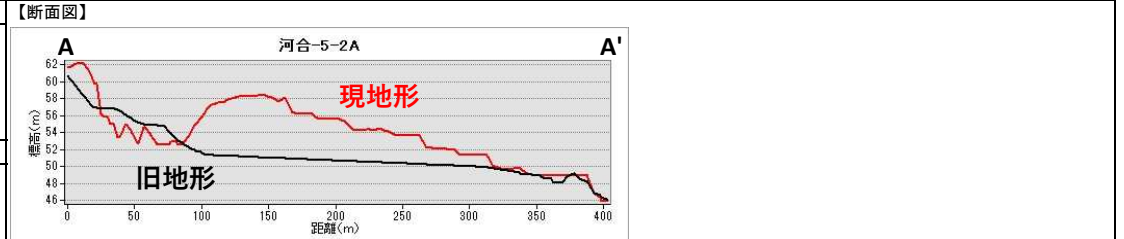


宅地概要 (第一次スクリーニング結果)								
盛土番号	河合-5-2	宅地名	久美ヶ丘	造成(許可)年代	S51~S62			
所在地住所	河合町久美ヶ丘2丁目							
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 (<input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型) <input type="checkbox"/> 自然斜面							
盛土形状	盛土面積A	29684 m ²	盛土幅W	251 m	盛土距離d	105 m	天端幅(腹付け型)L	m
	盛土高さH	3 m	盛土厚さD	m	元地盤勾配α	2 °		



宅地概要 (第二次スクリーニング計画の作成)		
優先度評価項目	判定	記事
① 盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
③ 地下水	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 可能性有	
④ 盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	
⑤ 造成年代(基準年以前/以後)	<input type="checkbox"/> 以前 <input checked="" type="checkbox"/> 以後	
⑥ 変動確率	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	

想定被害形態	優先度
規模の大きな宅地造成地の一部である。盛土の末端部は区域の東側となるが大規模な土留め構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内は全体的に目立った変状は無く、主に住宅地として利用されている。路面に発生しているクラックは、舗装の老朽化に伴うものと考えられる。また、盛土内に出水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化している兆候はない。造成年代は基準年以後である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。 想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。	B4



宅地概要 (第二次スクリーニング)							
【地盤定数】			【安定計算結果】				
	代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)	常時	地震時
盛土							
地山							

変動予測調査後	
【工事の記録】	
【点検の記録】	

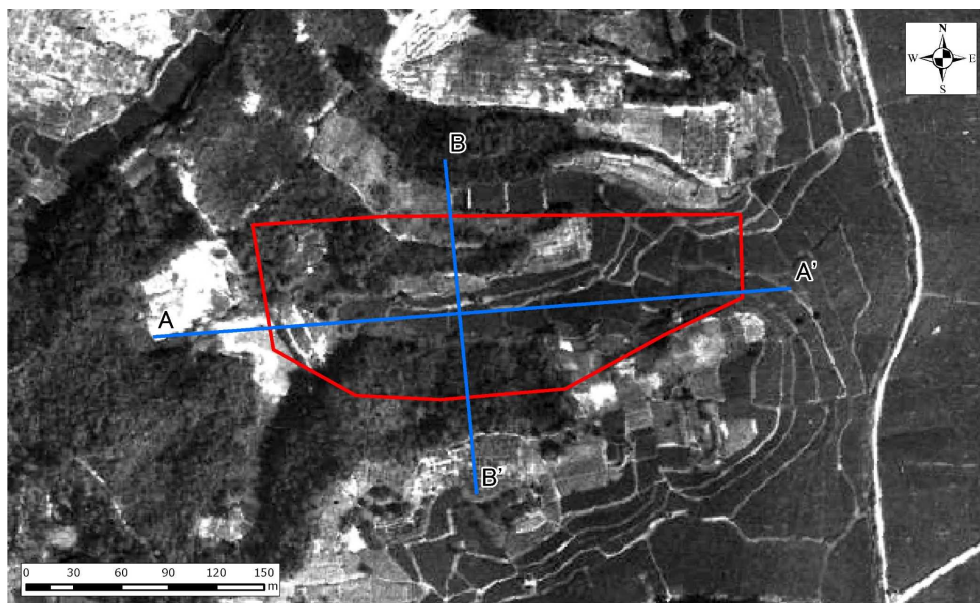
【総評】

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

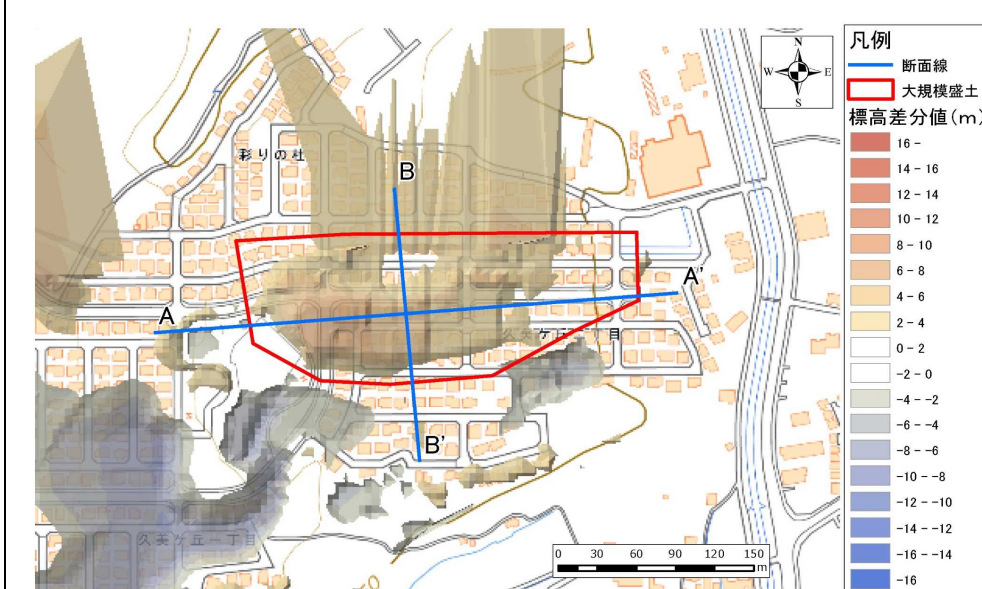
様式2

盛土番号	河合-5-2	宅地名	久美ヶ台	造成年代	S51~S62	盛土形状	盛土面積A	29684	m ²	盛土幅W	251	m	盛土距離d	105	m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	河合町久美ヶ丘2丁目					盛土形状	盛土高さH	3	m	盛土厚さD		m	原地盤勾配α	2	°		
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 （ <input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型 ） <input type="checkbox"/> 自然斜面					特記事項（ ）											

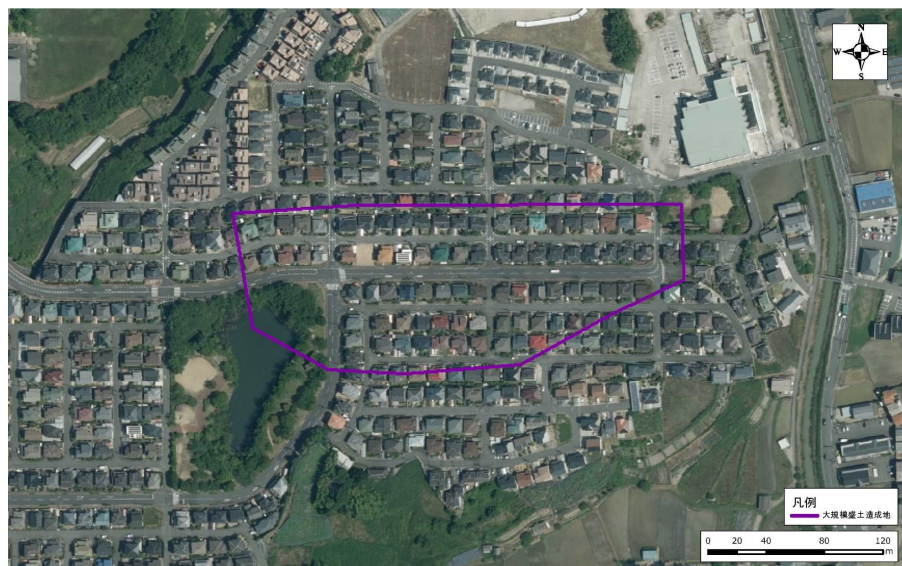
【背景（昭和21年度航空写真）】



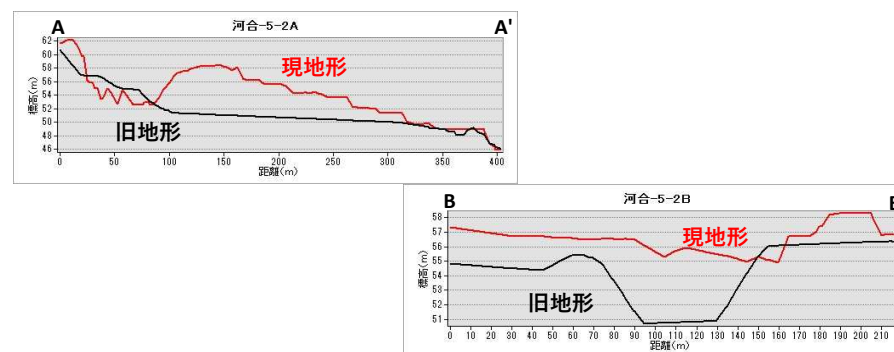
【差分図（背景現地形図）】



【空中写真】



【模式断面図】



宅地カルテ（第二次スクリーニング計画の作成（1））

様式3

基礎資料整理			現地踏査								
チェック項目	判定	記事	調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
・住宅	■有 □無	(124) 軒 ()	2022年11月4日	14:30	降水量 (mm)	0	0	0	13	0	0
・住宅公共施設等	■有 □無	■避難所 () 久美ヶ丘東公園 () □緊急輸送路 () □河川 () □鉄道 ()	・宅地内の平面図との相違		□有 ■無 ()	・盛土形状の机上調査との相違		□有 ■無 ()	・盛土末端部の状況		
・その他特記事項	—		土質		□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 □岩盤	盛土材料の確認		□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 ()	既往調査の資料		
各種指定の有無	■有 □無	■宅地造成工事規制区域 □災害危険区域 □人口集中地区DID □土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □急傾斜地崩壊危険区域 □砂防指定地 □地すべり防止区域	土質		□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 ()	その他特記事項		— ()	優先度評価項目		
その他特記事項	—		判定 (記事)		判定 (記事)						
その他	—		優先度評価項目		判定 (記事)						
⑤	基準年代 () S43 ()	□前 ■後 造成年代 () S51~S62 ()	造成年代		盛土の形状および構造						
⑥	変動確率	■大 □小 点数方式 (方式1) % 点数方式 (方式2) 44.4 % 数量化Ⅱ類 59.5 % その他 ()	変動確率		盛土の形状および構造						
【平面図】			優先度評価項目		判定 (記事)						
			①		盛土の形状および構造						
			②		宅地地盤・亀裂、沈下、隆起						
			③		盛土のり面からの湧水						
			④		盛土周辺の崖錐、崩積土						
			⑤		盛土周辺の沖積粘性土						
			⑥		盛土周辺の沖積飽和砂質土						
			⑦		盛土のり面からの湧水						
			⑧		盛土周辺の崖錐、崩積土						
			⑨		盛土周辺の沖積粘性土						
			⑩		盛土周辺の沖積飽和砂質土						
<p>規模の大きな宅地造成地の一部である。盛土の末端部は区域の東側となるが大規模な土留め構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内は全体的に目立った変状は無く、主に住宅地として利用されている。路面に発生しているクラックは、舗装の老朽化に伴うものと考えられる。また、盛土内に出水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化している兆候はない。造成年代は基準年以後である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。</p>			被害形態		地形的要因により崩壊には至らない変形						
優先度		B4									



写真1 末端付近の状況



写真2 末端付近の状況



写真3 末端付近の状況



写真4 盛土内を縦断する水路（暗渠）



写真5 中央部 土地利用状況



写真6 北側境界付近の土地利用状況



写真7 中央部 土地利用状況



写真8 路面のクラック



写真9 中央部 土地利用状況



写真10 南側境界付近の土地利用状況



写真11 中央部 土地利用状況



写真12 中央部 土地利用状況



写真13 北側境界付近の土地利用状況



写真14 中央部 土地利用状況



写真15 南側境界付近の土地利用状況



写真16 中央部 土地利用状況



写真17 中央部 土地利用状況



写真18 中央部 土地利用状況



写真19 北側境界付近の土地利用状況



写真20 北側境界付近の土地利用状況



写真21 頭部付近 土地利用状況



写真22 頭部付近 土地利用状況



写真23 路面のクラック



写真24 盛土上流側のため池

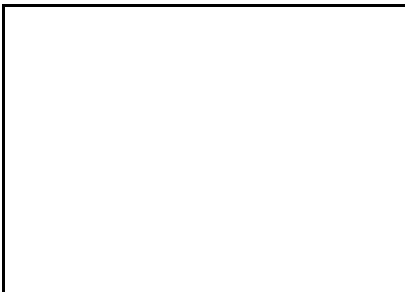


写真25

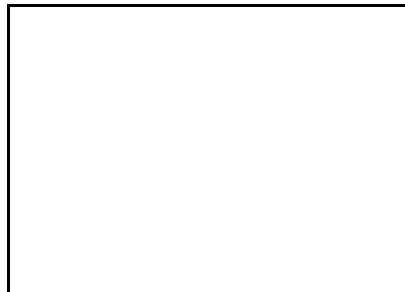


写真26

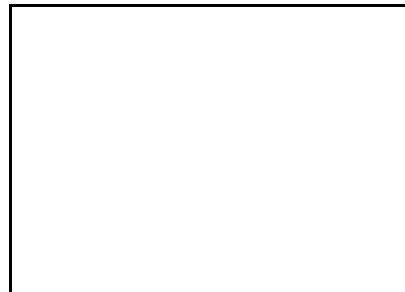


写真27

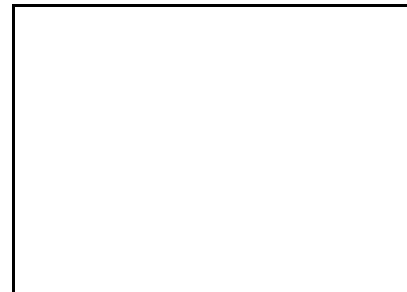


写真28



写真29



写真30



写真31



写真32